

| 議事録  |  |
|--|--|
| <b>第4回 研究会議（研究計画書について）</b><br>申請年：2019年／Project ID：APJ-2019-03<br><b>本邦における十二指腸癌に対する切除術式、リンパ節郭清範囲、<br/>           周術期化学療法の実態と解剖学的部位別のリンパ節転移率に関する調査</b>   |  |
| 日 時  | 2020年3月18日(水) 11時 00分～ 12時 00分   |
| 場 所  | WEB 会議   |
| 出席者<br>(敬称略)   | 研究者 : 小寺 泰弘、山田 豪<br>解析 : 山本 博之、高橋 新<br>SV : 金治 新悟、内藤 剛<br>陪席 : 日本消化器外科学会事務局（下赤所）<br>NCD 事務局（岡本、山本） |
| 会議概要   |  |
| <p>&lt;研究者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、後向き研究を元に開発を進めてきた（対象症例年：2012-2017）</li> <li>・十二指腸がんガイドラインのグループ@肝胆膵外科学会（対象症例年：2008-2017）と同様に近い研究（修練施設 A に限定）があり、調整が必要となった</li> <li>・このまま継続するには本研究課題を修練施設以外に限定するしかないかという結論</li> <li>・前向き観察研究にデザイン変更することを検討</li> </ul> <p>&lt;解析側&gt;</p> <p>これからの前向きであれば時間がかかりすぎるので、他研究とかぶらない範囲で過去のデータも使用する方が望ましい。</p> <p>●議論のまとめ</p> <p>デザインとして可能性があるのは、<br/>           対象症例年：2018年～<br/>           症例数を概算し、終了年度を決める。<br/>           対象施設は絞らず同様で、全体に依頼する形とする。<br/>           システムの運用の仕方がかわるため、追加費用の可能性はある。</p> |  |
| 今後の予定、確認事項   |  |
| ① 概算症例数計算  |  |

- ②対象症例年は2018年～いつまでにするかを定める
- ③具体的に入力のスケジュールを決める
- ④対象術式の確認

その後の決定事項：

データの収集方法：4年間分をまとめて一度で収集

2018年-2021年分：2022年夏頃に入力を実施

※解析については、案1・2ともに2022年夏以降となります。